

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 009	提案機関名 さがみ農業協同組合
要望問題名 津久井在来大豆の品種改良について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・津久井在来大豆は、本県の特徴ある農産物として、学校給食、農産物加工品として定着しているが、より高品質な大豆として、定着させてゆくために品種の改良を望みます。 ・JAさがみ管内での大豆栽培者の中では、大豆のへその部分が茶色をしているものが主で津久井在来大豆の特徴ですが、その中から花色が紫色あるいは白色で両系統とも白目（へそ）のものがあります。こうしたものは、収穫後の豆もきれいに見えるので、販売しやすいと考えられます。これをさらに系統選抜し、県の新しい品種としての育成を望みます。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考 できれば加工適正についても研究していただきたいです。	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部、生産環境部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名    (①、②、④の場合) Ⅱ1(1)新たなかながわ特産品の開発 ア 特産品となる新たな品種の育成			
対応の内容等 令和3年度から上記試験研究課題の中で、白目系統の選抜を実施し、今後、固定化を進めるための形質評価を実施します。また、加工品質を確認するため、味噌加工に対する適性評価も実施します。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			